

2021年10月14日

報道関係者各位

SBI いきいき少額短期保険株式会社  
[関東財務局長（少額短期保険）第8号]SBI インシュアランスグループ  
アンケートシリーズ①**SBI いきいき少短 “貯蓄と保険” に関するアンケート調査を実施****10月17日は「貯蓄の日」、世帯の貯蓄額「～100万円未満」が最多**

～保険の見直しの「必要性」を感じているのは7割超、実行しているのは2人に1人～

SBI インシュアランスグループの事業会社6社は、昨年につき各社の特性に合わせたアンケート調査を実施しました。

SBI いきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：新村 光由、以下「当社」）は、10月17日「貯蓄の日」に合わせて“貯蓄と保険”に関するアンケート調査を実施し、1,112名の方から回答を得ました。

この「貯蓄の日」を通じて、皆様の生活を支えるお金や保険に対する関心が高まり、“いきいきとした暮らし”へつながることを願っております。概要は以下の通りです。

**◆アンケート調査結果のサマリー**

- ① **世帯の「貯蓄額」、最多回答は「～100万円未満」。「0円」回答の“貯蓄なし世帯”は4.7%。**
  - ・世帯の「貯蓄額」について聞いたところ、「～100万円未満」が10.7%で最も多い結果となりました（「答えたくない」を除く）。「0円」と回答した貯蓄をしていない世帯は4.7%となりました。（別紙P.2参照）
- ② **世帯の「貯蓄」の最終目標額は「特に決めていない」が約4割で最多。**
  - ・世帯の「貯蓄額」の最終的な目標額について聞いたところ、「特に決めてない」が37.8%で最多となりました。（別紙P.3参照）
- ③ **7割超が「将来の生活に不安」と回答。**
  - ・現在の貯蓄状況で、将来の生活に不安を感じるかを聞いたところ、「不安を感じる（44.3%）」「どちらかといえば不安を感じる（31.7%）」を合わせると76.1%の方が不安を感じていると回答しました。（別紙P.4参照）
- ④ **将来のために加入している保険、第1位は「生命保険」。**
  - ・将来のために加入している保険について聞いたところ、「生命保険（64.7%）」が最多、次いで「医療保険（57.3%）」となり、ともに過半数を超える結果となりました。（別紙P.5参照）

⑤ 定期的な「保険の見直し」、「必要だと思う」は7割超。  
実際に行っているのは2人に1人。

- ・いずれかの保険に加入していると回答した方に「定期的な保険の見直しは必要だと思うか」聞いたところ、「必要だと思う(30.6%)」「どちらかといえば必要だと思う(42.8%)」を合わせると73.4%の方が必要だと思うと回答しました。
- ・「定期的な保険の見直しは必要」と回答した方に実際に見直しを行っているか聞いたところ、「行っている」は50.6%で半数をやや上回る結果となりました。(別紙P.6~7参照)

⑥ 保険を見直す目的第1位は「保険料をもっと安くしたい」。

- ・「保険の見直しを定期的に行っている」と回答した方に見直しを行ったきっかけ・目的について聞いたところ、「保険料をもっと安くしたい(64.9%)」が唯一過半数を超え、最多となりました。(別紙P.7参照)

⑦ 「貯蓄の日」、3人に1人が認知。

- ・「貯蓄の日」については、「知っている」「聞いたことがある」と答えた方が35.4%という結果となりました。(別紙P.1参照)

### ◆アンケート調査の概要

項目	内容
タイトル	“貯蓄と保険”に関するアンケート調査
調査期間	2021年9月24日(金)～2021年9月27日(月)
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	2人以上の世帯で、世帯の家計や貯蓄を管理・掌握している全国の20歳以上の男女 ※世帯人数は、同別居にかかわらず生計を同一にしている人数
有効回答数	1,112名
実施会社	株式会社ジャストシステム

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

### 【会社概要】

- 会社名 : SBIいきいき少額短期保険株式会社
- 会社紹介 : 当社は、東証一部上場「SBIホールディングス(株)」のグループ会社です。  
「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」という、お客様のご要望に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の病気やケガが気になる飼い主様に、幅広く支持されています。万が一の地震に備える地震補償保険で皆様の暮らしもサポートします。
- 所在地 : 東京都港区六本木1-6-1
- 設立年月日 : 2007年7月3日
- 資本金 : 36,000千円
- 事業内容 : 少額短期保険業(販売商品:SBIいきいき少短の死亡保険、SBIいきいき少短の医療保険、SBIいきいき少短の持病がある人の死亡保険、SBIいきいき少短の持病がある人の医療保険、SBIいきいき少短のペット保険、SBIいきいき少短の地震の保険)
- URL : <https://www.i-sedai.com>

**【お問い合わせ先】**

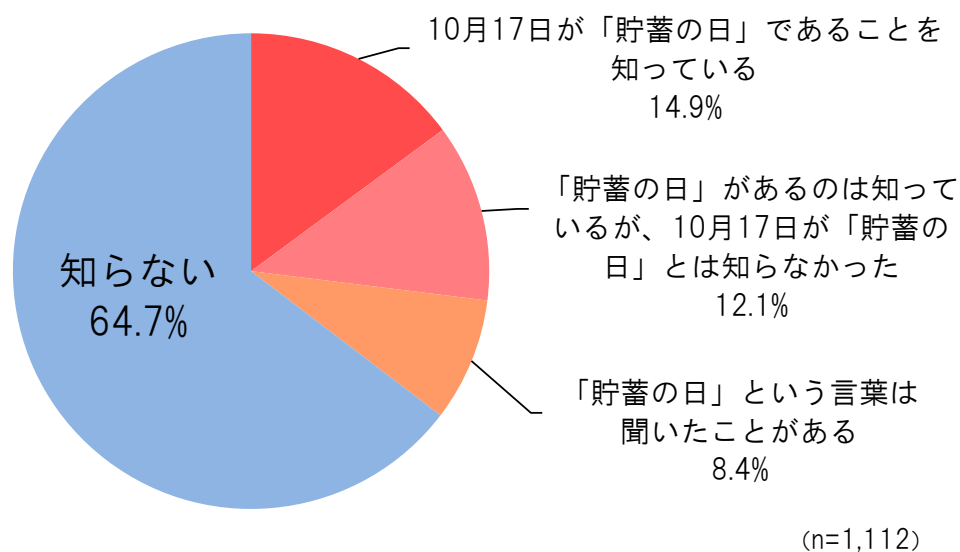
SBIいきいき少額短期保険株式会社 マーケティング部 事業戦略グループ  
 TEL : 03 (6856) 4537 / E-MAIL : [ikiiki\\_pr@i-sedai.com](mailto:ikiiki_pr@i-sedai.com)

## 【別紙】“貯蓄と保険”に関するアンケート調査結果の詳細

## 「貯蓄の日」に関する意識（Q1 参照）

「貯蓄の日」を知っているか聞いたところ、「知らない」と回答した方が6割超となった。「知っている」「聞いたことがある」と答えた方の合計は35.4%という結果となった。

## Q1 10月17日は「貯蓄の日」であることを知っていますか？【単数回答】



## ※参考「貯蓄の日」について

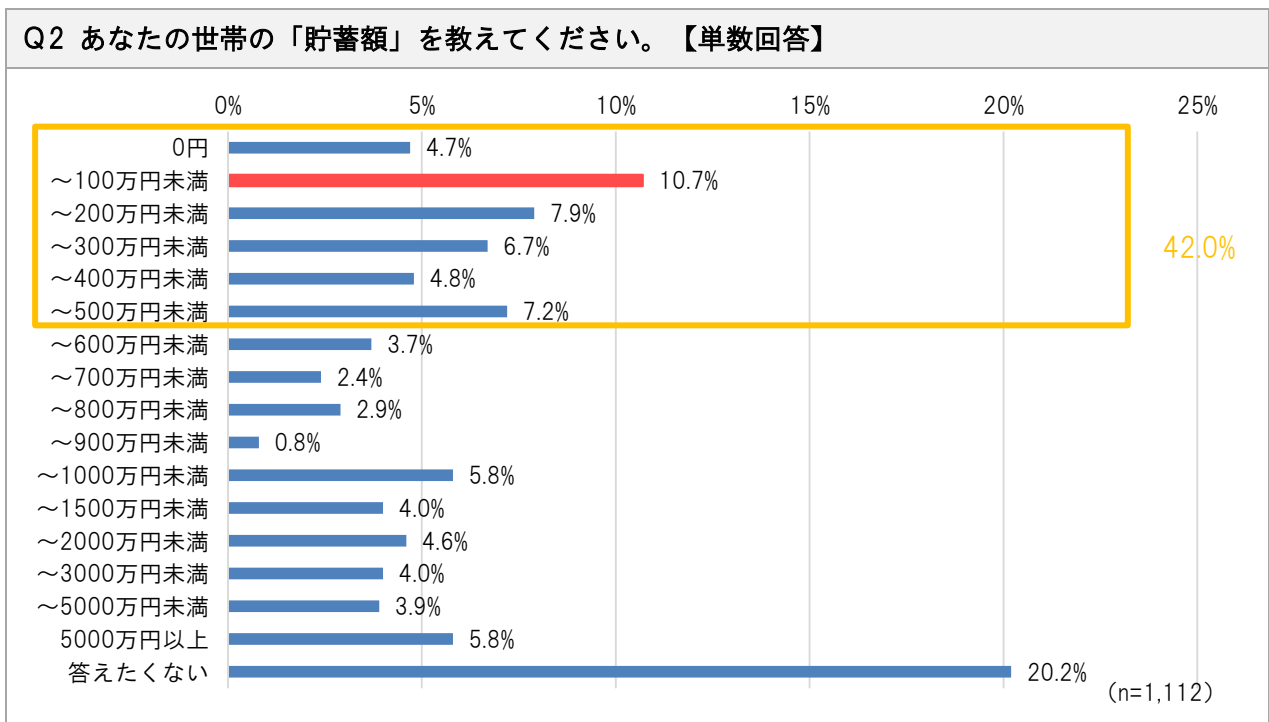
10月17日は「貯蓄の日」です。日本銀行が1952年に制定しました。収穫に感謝するお祭りである「神嘗祭（かんなめさい）」にちなみ、勤労の収穫物であるお金を無駄遣いせず大切にしようという意味が込められています。

世帯の「貯蓄額」について (Q2、Q3 参照)

世帯の「貯蓄額」について聞いたところ、「～100 万円未満」が 10.7%で最も多い結果となった (「答えたくない」を除く)。

「0 円」と回答した貯蓄をしていない世帯は 4.7%となった。

「0 円 (4.7%)」「～100 万円未満 (10.7%)」「～200 万円未満 (7.9%)」「～300 万円未満 (6.7%)」「～400 万円未満 (4.8%)」「～500 万円未満 (7.2%)」で、世帯の貯蓄額が「～500 万円未満」の合計は全体の 42.0%となった (オレンジ枠)。



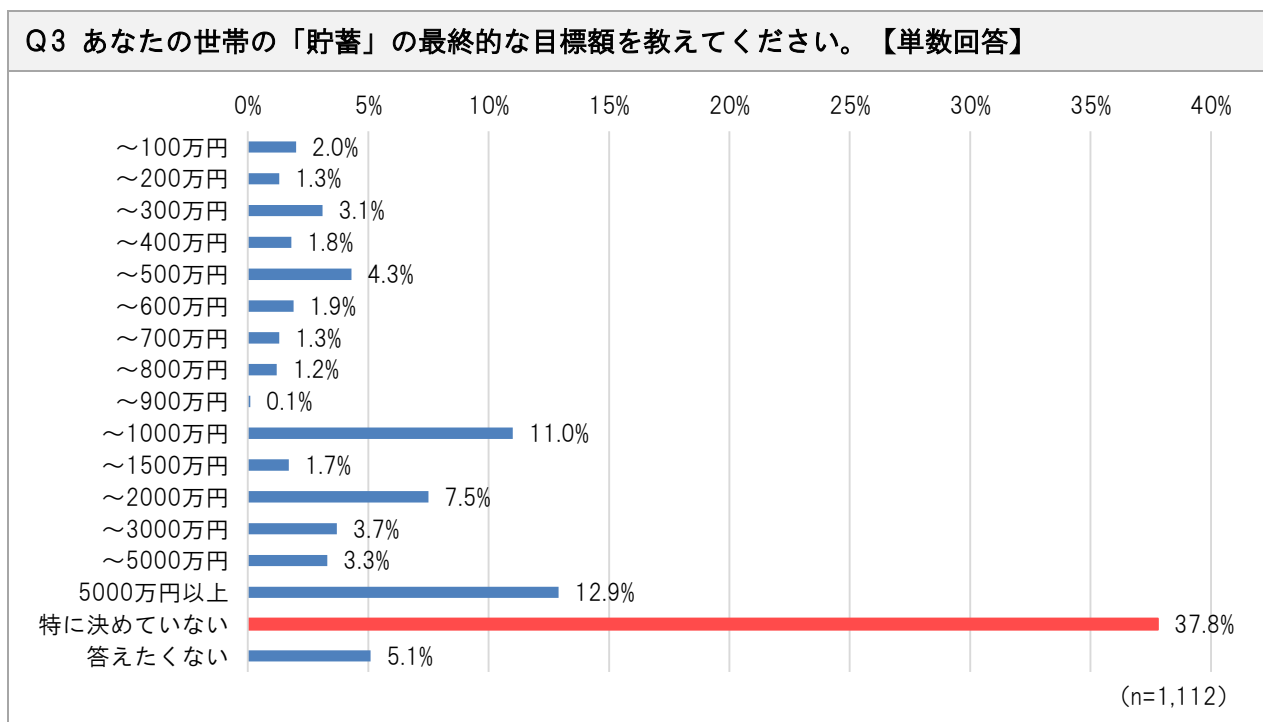
◆Q2 年齢別

年齢別に回答を比較すると、10%を超えた貯蓄額の区分はいずれも 300 万円未満となった(赤字)。各年齢層で最も多い区分は、30 代が「～200 万円未満」、そのほかは「～100 万円未満」となった (オレンジ背景)。

貯蓄額	0円	～100万円未満	～200万円未満	～300万円未満	～400万円未満	～500万円未満	～600万円未満	～700万円未満	～800万円未満	～900万円未満	～1000万円未満	～1500万円未満	～2000万円未満	～3000万円未満	～5000万円未満	5000万円以上	答えたくない
20歳～29歳 (n=222)	3.6%	13.1%	10.4%	10.4%	9.0%	8.1%	5.4%	2.3%	2.7%	0.9%	6.8%	0.9%	3.2%	2.7%	2.3%	5.4%	13.1%
30歳～39歳 (n=222)	3.6%	9.0%	14.9%	8.1%	4.5%	9.5%	4.1%	3.2%	4.1%	0.5%	5.4%	4.5%	5.0%	3.6%	1.8%	5.9%	12.6%
40歳～49歳 (n=222)	5.0%	13.5%	8.1%	8.6%	4.1%	9.0%	3.2%	3.2%	2.7%	1.4%	2.7%	4.5%	5.0%	3.2%	2.3%	4.1%	19.8%
50歳～59歳 (n=224)	7.1%	10.7%	3.1%	4.0%	2.2%	2.7%	3.1%	2.2%	3.6%	0.4%	7.1%	4.5%	3.1%	4.9%	6.7%	7.1%	27.2%
60歳以上 (n=222)	4.1%	7.2%	3.2%	2.7%	4.1%	6.8%	2.7%	1.4%	1.4%	0.9%	6.8%	5.9%	6.8%	5.4%	6.3%	6.3%	28.4%

世帯の「貯蓄額」の最終的な目標額について聞いたところ、「特に決めてない」が37.8%で最多となった。

10%を超えた貯蓄額の区分は「～1000万円（11.0%）」「5000万円以上（12.9%）」となり、一定の目標設定となっている傾向が見えた。



◆Q3 年齢別

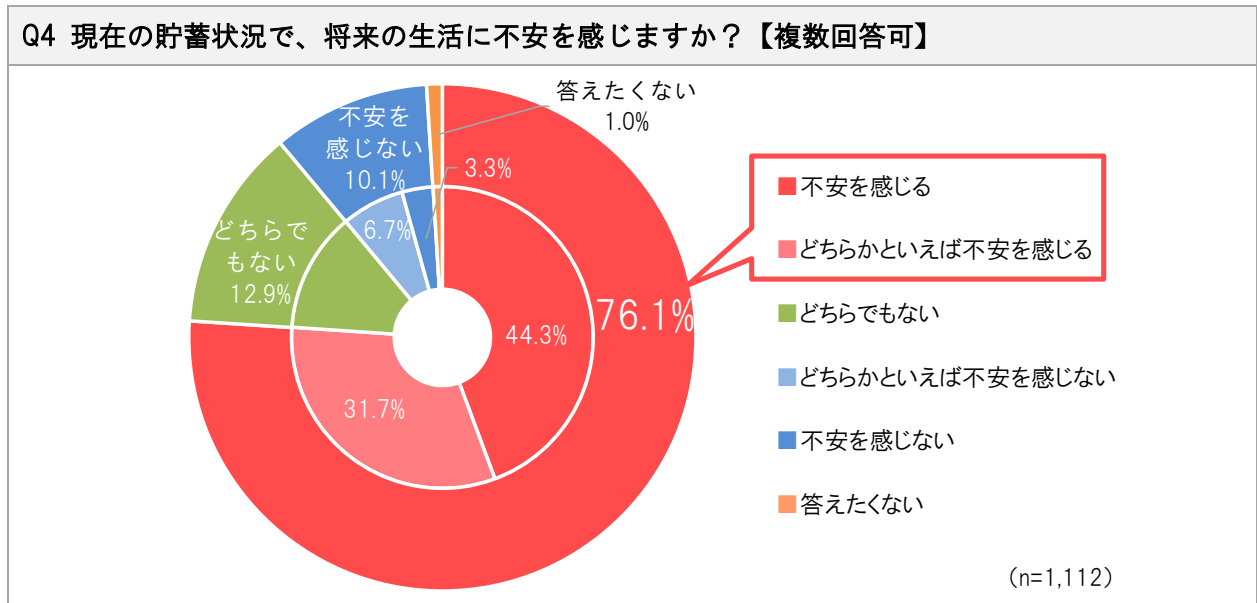
年齢別に回答を比較すると、すべての世代で「特に決めていない」が最多となった（オレンジ背景）。目標額を設定している方が最も多い世代は20代という結果となった。

※赤字：10%以上の区分

貯蓄の目標額	～100万円	～200万円	～300万円	～400万円	～500万円	～600万円	～700万円	～800万円	～900万円	～1000万円	～1500万円	～2000万円	～3000万円	～5000万円	5000万円以上	特に決めていない	答えたくない
20歳～29歳 (n=222)	2.3%	2.7%	7.2%	5.4%	5.9%	5.9%	3.2%	1.4%	0.5%	13.5%	2.7%	5.4%	3.6%	1.8%	17.6%	18.9%	2.3%
30歳～39歳 (n=222)	1.8%	1.8%	4.5%	2.7%	3.6%	1.4%	1.4%	1.8%	0.0%	10.8%	1.8%	7.2%	5.0%	6.8%	12.6%	33.3%	3.6%
40歳～49歳 (n=222)	1.8%	0.5%	2.3%	0.5%	5.4%	0.9%	0.5%	1.4%	0.0%	13.1%	2.7%	9.9%	4.1%	1.8%	14.0%	35.6%	5.9%
50歳～59歳 (n=224)	3.1%	1.3%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	9.8%	0.0%	6.7%	2.2%	2.2%	13.4%	50.9%	6.7%
60歳以上 (n=222)	0.9%	0.5%	0.9%	0.5%	5.0%	1.4%	0.9%	0.9%	0.0%	7.7%	1.4%	8.1%	3.6%	4.1%	7.2%	50.0%	7.2%

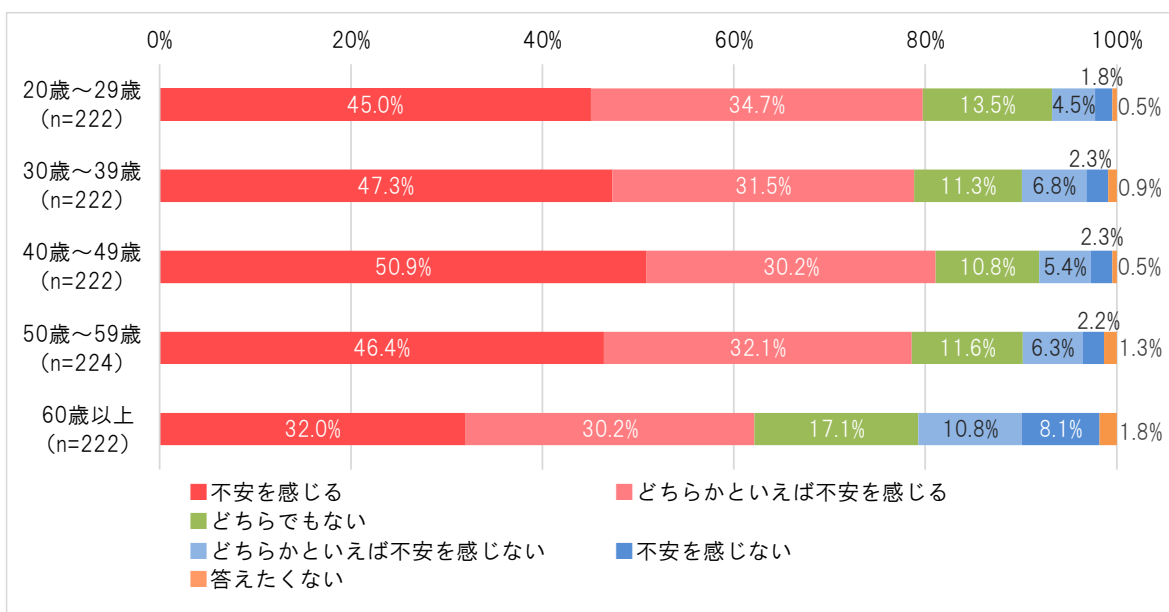
将来の生活への不安について（Q4 参照）

現在の貯蓄状況で、将来の生活に不安を感じるかを聞いたところ、「不安を感じる」と回答した方が44.3%と最も多かった。「どちらかといえば不安を感じる（31.7%）」と合わせると、76.1%の方が不安を感じている結果となった。「不安を感じない（3.3%）」「どちらかといえば不安を感じない（6.7%）」と回答した方は、合わせて10.1%となった。



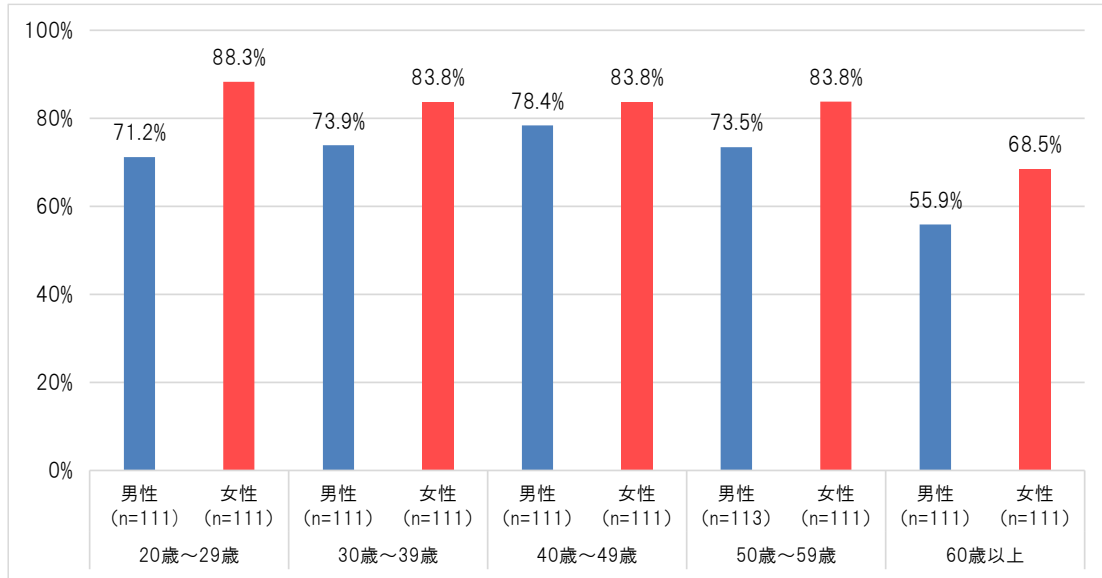
◆Q4 年齢別

年齢別に回答を比較すると、「不安を感じる（どちらかといえばを含む）」が最も多いのは40代（81.1%）となった。60歳以上では、「不安を感じない（どちらかといえばを含む）」の回答が18.9%となり、ほかの世代と比べて2倍以上の結果となった。



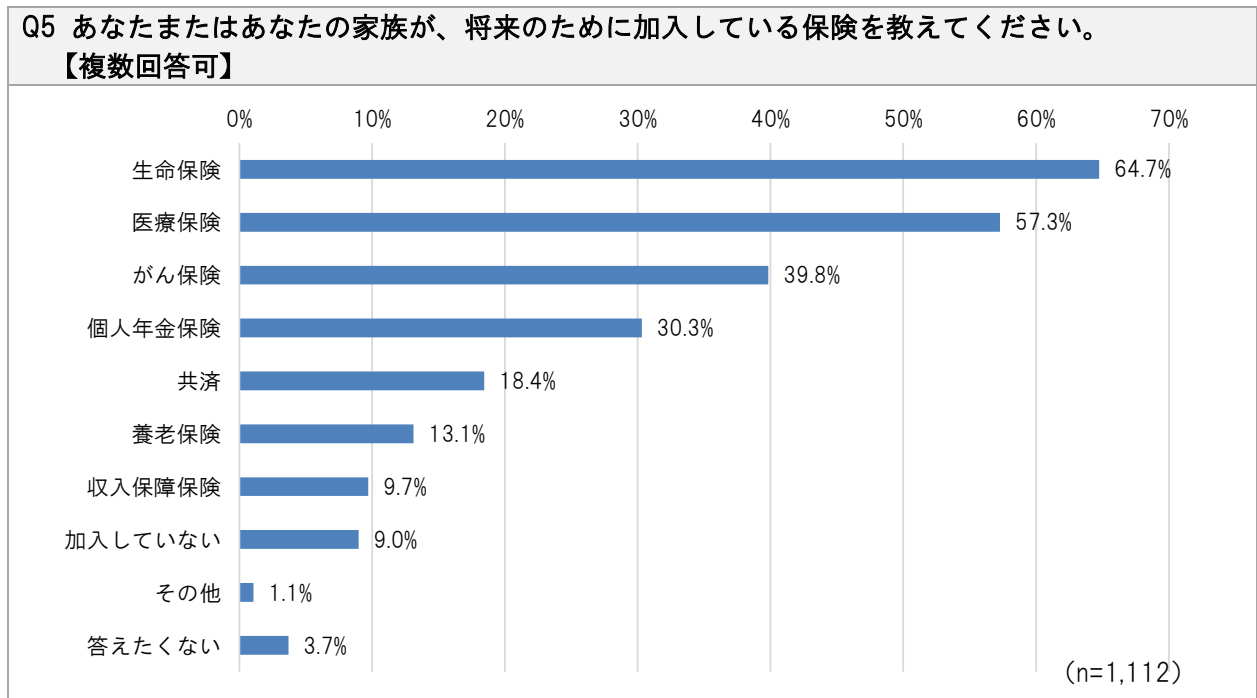
◆Q4 年齢・男女別「将来への生活に対する不安」

「現在の貯蓄状況で、将来の生活に不安を感じる（どちらかといえばを含む）」の回答を男女別に比較すると、女性のほうが男性に比べて不安を感じる傾向があり、20代では男性（71.2%）、女性（88.3%）と男女差が最も大きく17.1ポイント差となった。



将来のために加入している保険について（Q5 参照）

将来のために加入している保険について聞いたところ、「生命保険（64.7%）」が最多、次いで「医療保険（57.3%）」となり、ともに過半数を超える結果となった。「その他」では、「学資保険」「介護保険」などの回答が挙げられた。



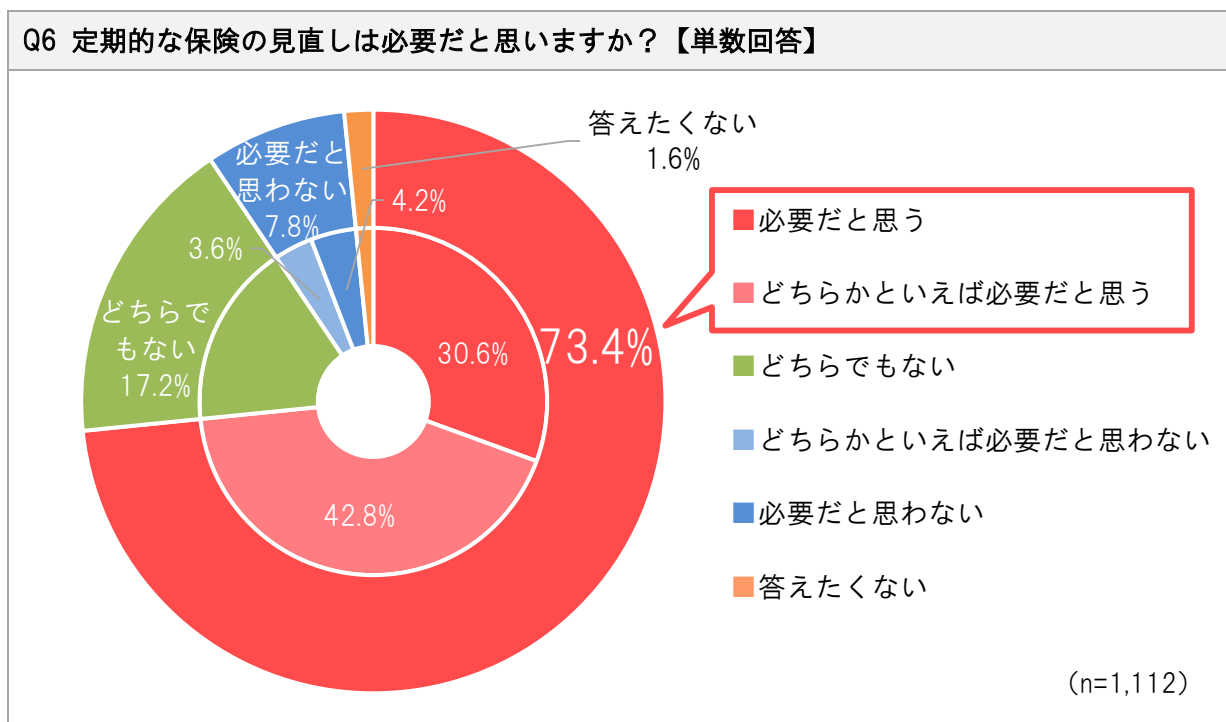
◆Q5 年代別

年代別に比較すると、各世代で最多の回答は「生命保険」となった。

加入している保険の種類	生命保険	養老保険	個人年金保険	医療保険	がん保険	収入保障保険	共済	その他	加入していない	答えたくない
20歳～29歳 (n=222)	53.2%	19.8%	33.3%	47.7%	29.7%	17.1%	12.6%	0.9%	11.7%	3.6%
30歳～39歳 (n=222)	64.0%	14.4%	32.4%	59.0%	40.5%	15.3%	16.2%	0.5%	8.1%	3.2%
40歳～49歳 (n=222)	68.5%	10.8%	27.0%	62.2%	41.4%	8.1%	19.4%	1.8%	5.9%	6.8%
50歳～59歳 (n=224)	72.8%	12.5%	39.7%	59.8%	42.9%	5.8%	19.6%	0.9%	8.0%	2.7%
60歳以上 (n=222)	65.3%	8.1%	18.9%	57.7%	44.6%	2.3%	24.3%	1.4%	11.3%	2.3%

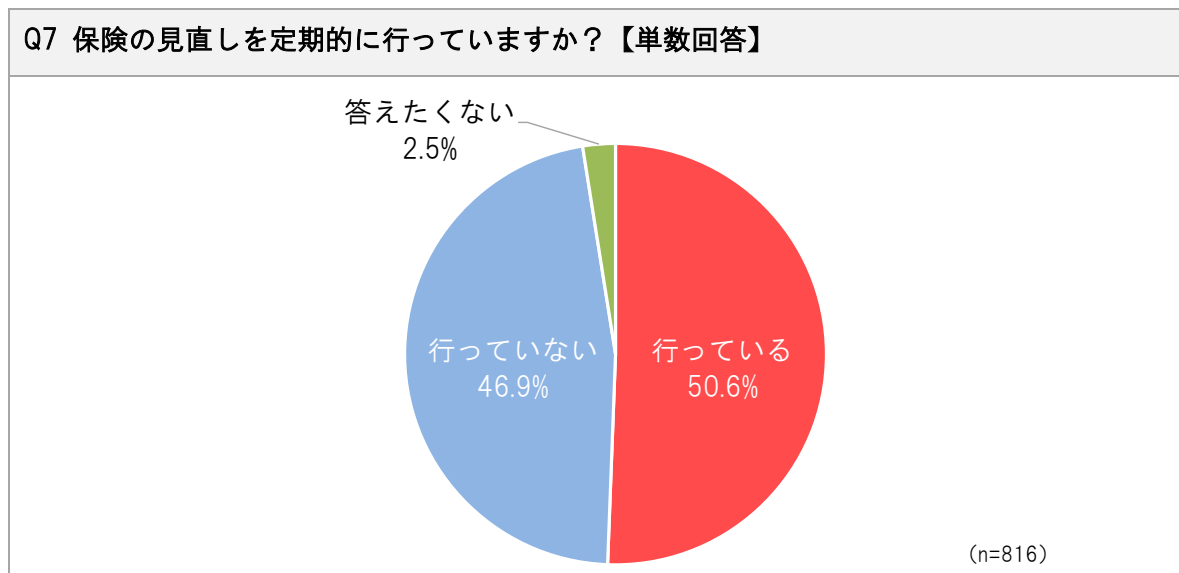
保険の見直しについて (Q6、Q7、Q8 参照)

Q5で「いずれかの保険に加入している」と回答した方に「定期的な保険の見直しは必要だと思うか」聞いたところ、「必要だと思う (30.6%)」「どちらかといえば必要だと思う (42.8%)」を合わせて73.4%となった。

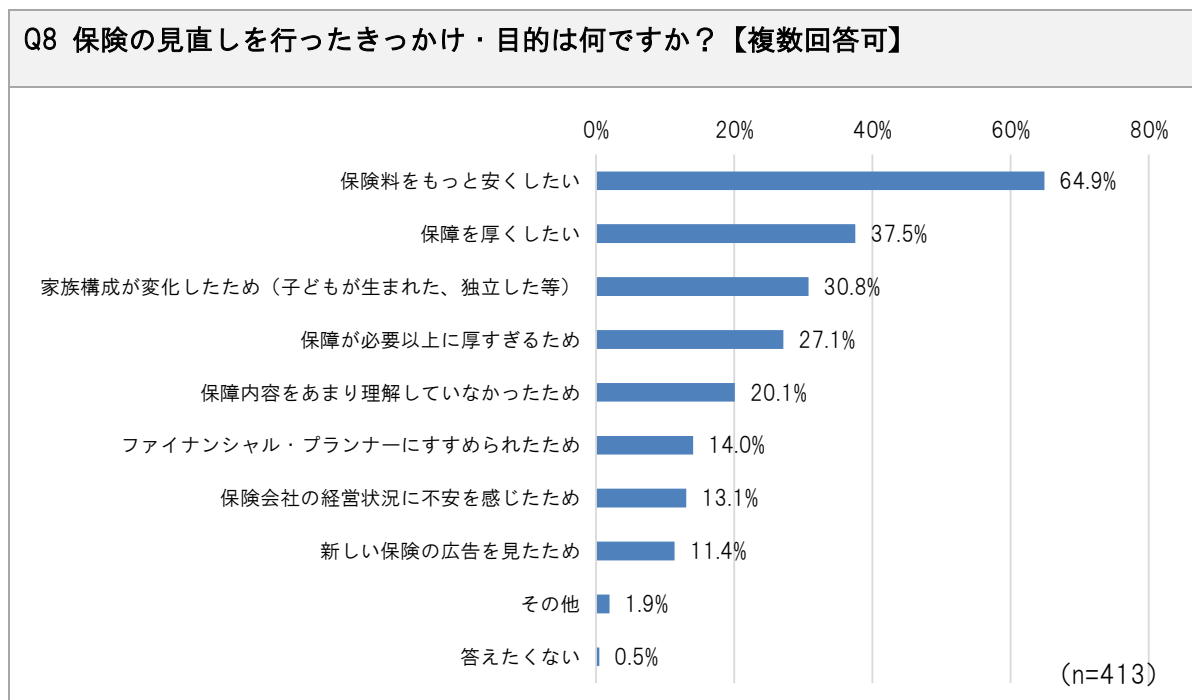




Q6で「保険の定期的な見直しは必要だと思う（どちらかといえばを含む）」と回答した方に「保険の見直しを定期的に行っているか」聞いたところ、「行っている（50.6%）」が半数をやや上回る結果となった。7割超の方が「定期的な保険の見直しは必要」と回答したが、実際に行っているのはそのうち約半数にとどまっていることがわかった。



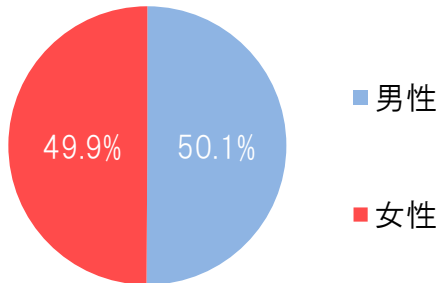
Q7で「保険の見直しを定期的に行っている」と回答した方に、「保険の見直しを行ったきっかけ・目的」について聞いたところ、「保険料をもっと安くしたい（64.9%）」が唯一過半数を超え、最多となった。



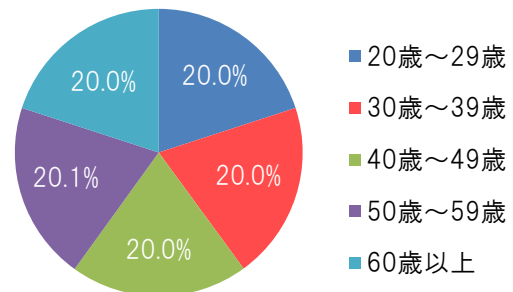
以上

■ アンケート回答者属性

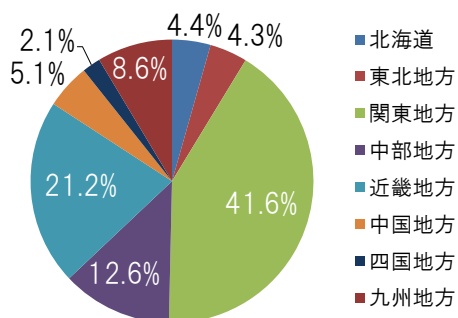
【1】 男女別の割合 (n=1,112)



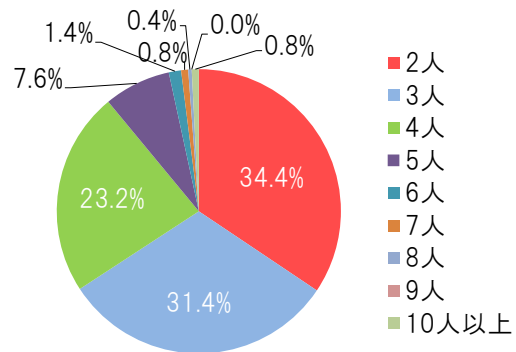
【2】 年齢別の割合 (n=1,112)



【3】 地域別の割合 (n=1,112)



【4】 世帯人数の割合 (n=1,112)



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。